

亀岡市シェイクアウト訓練Q&A

1 シェイクアウト訓練とは

「シェイクアウト (ShakeOut)」は「(地震の) 揺れに備えろ!」という安全行動の標語、かけ声をイメージして、アメリカの地震研究チームが研究成果を広く知らせる防災訓練のために考えた造語で、もともとは日本の防災訓練がモデルだとされています。

シェイクアウト訓練とは、事前登録した不特定多数の参加者が、一斉にそれぞれの場所で安全確保行動 (①まず低く、②頭を守り、③動かない) をとる訓練です。

2 一斉防災行動訓練 (シェイクアウト訓練) の意義は

シェイクアウト訓練は、地震の際の安全確保行動「まず低く、頭を守り、動かない」を身に着ける訓練であることから、一定の場所に集まる必要もなく、参加の意思さえあれば「場所を問わない」、「時間がかからない」、「家庭、学校、職場の実態に応じて実施できる」といった特徴を持っており、自分の命は自分で守るという「自助」の取り組みに重点を置いた訓練です。

3 一斉に安全確保行動をとる意味はあるのか。また事前登録をする意味はあるのか。

シェイクアウト訓練は、地震の際の安全確保行動「まず低く、頭を守り、動かない」を身に着ける訓練であることから、一定の場所に集まる必要もなく、参加の意思さえあれば「場所を問わない」、「時間がかからない」、「家庭、学校、職場の実態に応じて実施できる」といった特徴をもつ、手軽に参加できる訓練です。その反面、どれだけの方が訓練に参加されているかなど効果が図りにくい側面があります。

訓練の参加事前登録は、訓練の参加人数を把握することも目的としていますが、「参加者が参加者を呼ぶ」ことが期待され、より多くの方々に登録を通じて本市が発信している防災情報に触れていただくこと、また参加登録の仕組みを設けることで、登録者の主体的な行動を促すことを目的としております。(事前登録は亀岡市HPから行うことができます。)

なお、訓練参加事前登録の有無にかかわらず、お持ちの携帯電話、スマートフォン等が緊急速報メールに対応している機種であれば、緊急速報メールを受信します。

4 訓練開始の合図はあるのか

家庭、学校、職場などのそれぞれの場所で実施する訓練であるため、統一的な訓練開始の合図はありません。それぞれの場所の状況に合わせて訓練の開始をお願いします。

なお、亀岡市からは防災情報かめおかメール登録者に向けて、訓練開始時間にメールを送信しますので、それを開始の合図にさせていただくこともできます。

5 緊急速報メールを訓練で発信する意義は

緊急速報メールは、自治体から避難準備情報、避難勧告等重要な情報を発信するものです。近年の災害発生時にも実際に発信しており、訓練を通じて重要な情報を発信する緊急速報メールに慣れていただくため、亀岡市全域に発信します。

6 緊急速報メールを受信しない可能性はあるか

緊急速報メールを受信できない可能性として考えられる理由は以下のとおりです。

- ①お持ちの携帯電話・スマートフォン等が緊急速報メールに対応していない機種である。
- ②お持ちの携帯電話、スマートフォン等が緊急速報メールを受信するために、バージョンアップ等が必要となる機種である。
- ③緊急速報メール発信時に通話中であった、電源が入っていなかった、電波の届かない場所にいたなど。

また、緊急速報メールは自治体から重要な情報を伝達するための仕組みですので、マナーモードでも受信し着信音が鳴ります。ただし、機種によって緊急速報メールの着信をマナーモード設定できるものもあります。

※詳しくは各通信事業者に御確認ください。

7 亀岡市外にいても、緊急速報メールを受信するか

緊急速報メールは、亀岡市内の通信事業者の基地局から発信します。亀岡市との境界付近にある地域では市の境界を越えて電波が届いてしまうことがあります。

8 「プラス1訓練」とは何か

より実践的な訓練とし、またより多くの参加者の防災意識が高められるように、シェイクアウト訓練と合わせて「プラス1訓練」を実施していただくことを推奨しています。

- ・家具、棚、ロッカーなどの転倒を防止する対策、確認
- ・非常食、飲料水などの備蓄、賞味期限切れの確認
- ・避難経路や避難場所の確認
- ・家族や従業員との連絡体制の確認

上記以外にもご家庭、学校、職場などにあつた「プラス1訓練」を工夫して実施してください。

9 訓練でけがをした場合、市から補償はあるか

シェイクアウト訓練は、自主的に実施していただくものであり、訓練中にけがをされた場合には、市からの補償はありません。